

MANCHURIA GRAPH

全15巻

満洲国

◆監修◆財団法人満鉄会

S.M.R.'S NEW SUPER-EXPRESS TRAIN"

"ASIA"

*the first stream-lined train in the Orient, now in operation
on the land of peace and prosperity, Manchuria.*

*Since November 1st, the new stream-lined super-express train "ASIA", the first of its kind ever
attempted in the Orient, has been put to service for the passenger traffic between Dairen and Hsinking, the
distance of which, 702 km., is being negotiated in 8 1/2 hours.*

*It was both designed and built by the S. M. R.'s own engineers and most of the materials used are
the native products of Japan and Manchuria. In contrast with the tremendous cost of \$ 200,000 needed for
the construction of the famous 3-car express train of the same nature now being operated on the Union Pacific
Railroad in the U.S., the total cost of the "ASIA", a 7-car monster, is only ¥500,000.*

*The "ASIA" is made up of a locomotive which is capable of producing a maximum speed of 130
km. per hour, a mail and baggage car, two third class passenger cars, a dining, a second class passenger car,
and a combination first class passenger and observation car at the rear end, being a total passenger capacity
of 292. The body of the train is painted sage-green with a straight white line running throughout the
whole train, while the roof is finished in silver.*

*The high quality cast steel is used for its framework and a good deal of ingenuity is exercised in
the design so as to reduce the vibration and the noise disturbance from without. Moreover, it is completely
air-conditioned, assuring both the constant ventilation of the air and the proper regulation of the heat in
accordance with the seasonal requirement. Unusually large-sized windows together with the revolving seats,
both in the first and second class passenger cars, make it possible for the passengers to enjoy the panorama
outside with much ease and comfort. It is, without doubt, the fastest and the most comfortable train in the
whole Orient.*

●解説●

井村哲郎

(新潟大学教授)

戦暁梅

(東京工業大学)

竹葉文

(名古屋市美術館)

館かおる

(お茶の水女子大学)

西原和海

(文芸評論家)

劉建輝

(国際日本文化研究センター)

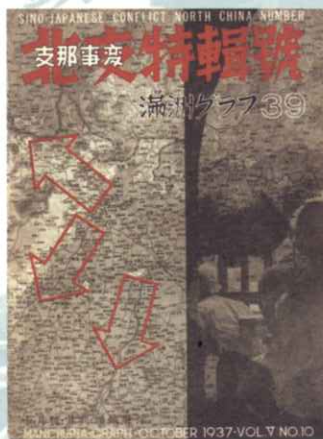
ほか

生活・風俗・工業・農業・漁業・
民族美術・各民族の特集等々、
一級の写真資料で見る
「満洲国」のすがた。

VOL. II NO. 6

隔月刊 発行
ゆまに 書房 YUMANI SHOBDO

南満洲鐵道株式會社出版



「満洲グラフ」とは

1933年（昭和8年）に南満洲鉄道株式会社（満鉄）から隔月刊のグラフPR誌（1935年4月より月刊）として創刊された。創刊の時点で、日本国内におけるグラフ雑誌は1923年創刊の「アサヒグラフ」のみであり、さらに言うならば、グラフ誌という媒体に決定的な影響を及ぼすことになる「LIFE」より3年先んじている。

左から右への文字組、表紙の芸術的な写真、大胆なタイポグラフィ、海外の読者を意識した英語との併記、見開きに華麗に展開されるフォトモンタージュなど、時代の最先端を行く斬新な編集がなされた。

雑誌の性格を決定づけた、これら編集・デザインの中核を担ったのは、「満洲写真作家協会」（1932年結成）の結成メンバーである淵上白陽（1889-1960）である。淵上は1920年代より、日本の近代写真をリードし続けた存在であり『満洲グラフ』の編集にその卓越した感性は遺憾なく発揮されている（淵上は1928年に渡満、満鉄嘱託となり、1941年離満）。

だが『満洲グラフ』の特徴はこれら芸術的側面にとどまるものではない。「満洲国」を広くPRするための誌面は、満洲における生活・風俗・工業・農業・漁業・民族美術・各民族の特集……など極めて多岐の内容で構成されている。それら現在は失われてしまった各民族の生活や風俗などを、一級の写真資料で眺め、確認できる。まさに写真で見る「満洲国」百科ともいうべき内容であり、これこそが、『満洲グラフ』の最大の特徴である。

本書の特色

先駆的グラフ雑誌

「LIFE」より先んじること3年、南満洲鉄道株式会社（満鉄）のグラフPR誌。

斬新なレイアウト

左から右への文字組、表紙の芸術的な写真、大胆なタイポグラフィ、海外の読者を意識した英語との併記、見開きに華麗に展開されるフォトモンタージュなど、時代の最先端を行く斬新な編集。

「満洲国」のすべてを一級の写真資料で

生活・風俗・工業・農業・漁業・民族美術・各民族の特集等々、極めて多彩な内容で構成されており、まさに写真で見る「満洲国」百科とも言うべき貴重資料。

目次から

▼第1巻第1号（1号）

秋！／農業国満洲／国都建設／日満最短交通路の完成へ／熱河離宮と寺廟／満洲大博覧会／満洲風俗

▼第1巻第2号（2号）

晩秋／耀く凱旋建設途上の羅津／蒙古の風貌／国境に近く／ガルモンカを弾く～／鋪道に拾ふ／秋季孔子祭

▼第2巻第1号（3号）

冬来りなば／寒中素描／開発の前線／日鮮満直通幹線成る／拓けゆく沿線／満洲の近情

▼第2巻第2号（4号）……………「満洲国大典特集号」

満洲国皇帝陛下／皇上即位／泰運重光／国基永奠／乾元正位／普天同慶／萬寿無疆／山河増色／四民和楽

▼第2巻第3号（5号）

春／娘々祭と娘々市／満洲野の五月／楽土に殺到する移民群／満鉄 生まれて二十七年／満洲国近事

▼第2巻第4号（6号）

秩父御名代宮殿下の御声明／秩父御名代宮殿下と満洲国皇帝陛下／栄光燦たり！！／輝く帝都／風薫る／満支を貫く／直通旅客スケッチ／奉山沿線風景／直通線上に躍る山海関／林間生活

▼第2巻第5号（7号）

東満洲を衝く凶寧新線／老松嶺の原始林／風物諸相／建設は進む／沿道拾遺／国道建設／四庫全書

▼第2巻第6号（8号）

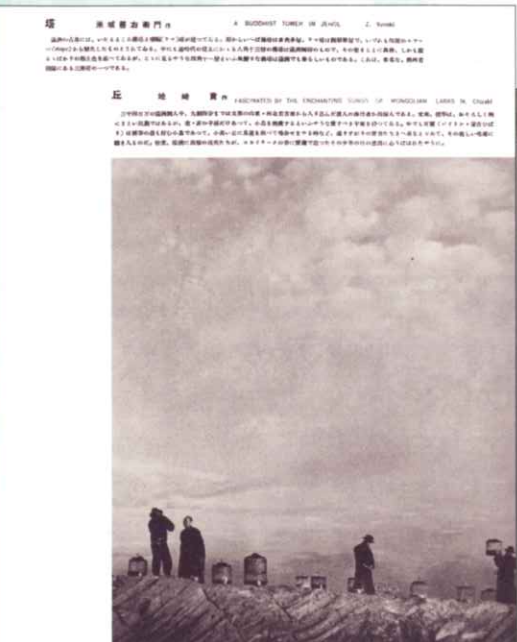
満鉄の超特急・あじあ／発車前・大連駅フォーム／“慰安線”の松花江巡航／曠野を行く／陸軍大演習／満洲国の新行政

斬新なレイアウトと一級の写真で、「満洲」

New Capital (Hsinking) in the Making

新なる都の繁栄 新都は

写真芸術

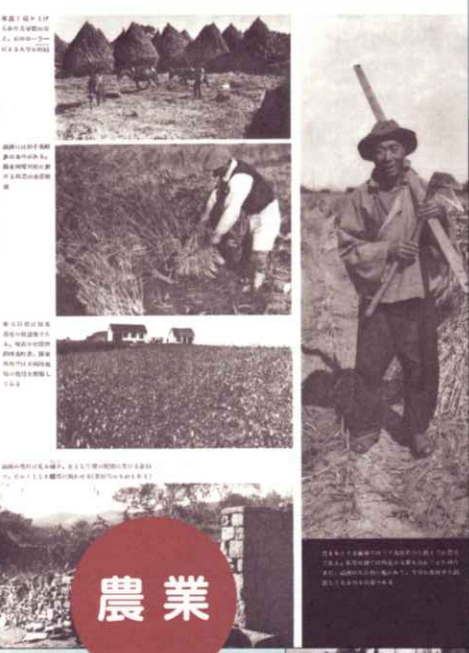


●第4巻第6号「満洲の美術写真」より。左「塔」米田善右衛門、右「丘」地崎実。淵上白陽率いる「満洲写真作家協会」の特集号。全ページが迫力の写真で飾られている。

●第5巻第8号「満洲の塩業」より。海水から塩を精製する過程が、写真と図説

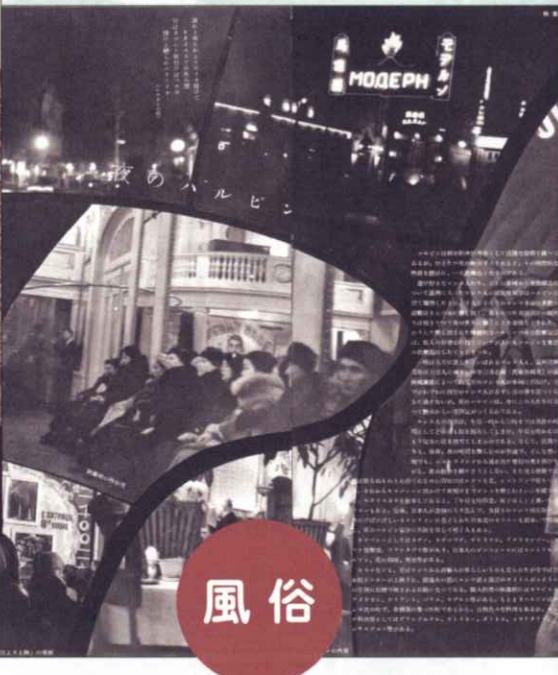


農業国満洲



●第1巻第1号「農業国満洲」より。「……年々一億五千万石の穀物を産出し、世界的大農業国たる貴祿……」

●第5巻第1号「ハルビン大特集号」より。夜のハルビン繁華街の様子



農業

風俗

区画／満洲国皇帝・初の御巡狩

- ▼第3巻第1号 (9号)
シベリヤを突く北黒新線／小興安嶺の原生林／黒龍江流域の砂金と民俗／蘇領ブラゴエを望む／結氷近き黒龍江／満洲国国防艦隊／松花江氷上の先礼祭クリスチエーニエ／氷原に沸く法悦／満洲近事
- ▼第3巻第2号 (10号)
北鉄譲渡交渉成る／北鉄接収！！／東部国境／ボグラニーチナヤ／濱綏沿線／マンチュリー／国境の人と自然／濱洲沿線／京濱沿線／北鉄スナップ／駅頭小景／北鉄の中心点ハルビン／ハルビンとエミグラン

トたち／御訪日の満洲国皇帝陛下

- ▼第3巻第3号 (11号)
伸びゆく奉天／郊外に膨張する大奉天／繁昌する奉天駅頭／満鉄経営の奉天鉄道附属地／外人の居留する奉天商埠地／奉天城内／歴史の奉天／奉天満人商売往来／短い春から明朗な初夏へ
- ▼第3巻第4号 (12号)
左様なら満洲／退職金を受取る人々／国境を越えて赤い祖国へ／安泰沿線の景観／伝説の平頂山／鉄と鋼の“鞍山”／鉄鋼一貫作業開始！！／奉天の国立博物館／満洲近事

満洲グラフ

[監修] 財団法人満鉄会

A4判上製/カバー装 全15巻

●第1回 全4巻 揃定価92,400円(本体88,000円) ISBN978-4-8433-3013-5 C3321 2008年9月刊行

- 1◆ 第1巻第1号(通巻1号)~第2巻第6号(通巻8号)/昭和8年9月~同9年11月 ISBN978-4-8433-3017-3 C3321
- 2◆ 第3巻第1号(通巻9号)~第3巻第9号(通巻17号)/昭和10年1月~12月 ISBN978-4-8433-3018-0 C3321
- 3◆ 第4巻第1号(通巻18号)~第4巻第12号(通巻29号)/昭和11年1月~12月 ISBN978-4-8433-3019-7 C3321
- 4◆ 第5巻第1号(通巻30号)~第5巻第12号(通巻41号)/昭和12年1月~12月 ISBN978-4-8433-3020-3 C3321

●第2回 全4巻 揃定価92,400円(本体88,000円) ISBN978-4-8433-3014-2 C3321 2009年2月刊行予定

- 5◆ 第6巻第1号(通巻42号)~第6巻第12号(通巻53号)/昭和13年1月~12月 ISBN978-4-8433-3021-0 C3321
- 6◆ 第7巻第1号(通巻54号)~第7巻第7号(通巻60号)/昭和14年1月~7月 ISBN978-4-8433-3022-7 C3321
- 7◆ 第7巻第8号(通巻61号)~第7巻第12号(通巻65号)/昭和14年8月~12月 ISBN978-4-8433-3023-4 C3321
- 8◆ 第8巻第1号(通巻66号)~第8巻第8号(通巻73号)/昭和15年1月~8月 ISBN978-4-8433-3024-1 C3321

●第3回 全4巻 揃定価92,400円(本体88,000円) ISBN978-4-8433-3015-9 C3321 2009年7月刊行予定

- 9◆ 第8巻第9号(通巻74号)~第9巻第3号(通巻80号)/昭和15年9月~同16年3月 ISBN978-4-8433-3025-8 C3321
- 10◆ 第9巻第4号(通巻81号)~第9巻第9号(通巻86号)/昭和16年4月~9月 ISBN978-4-8433-3026-5 C3321
- 11◆ 第9巻第10号(通巻87号)~第10巻第3号(通巻92号)/昭和16年10月~同17年3月 ISBN978-4-8433-3027-2 C3321
- 12◆ 第10巻第4号(通巻93号)~第10巻第9号(通巻98号)/昭和17年4月~9月 ISBN978-4-8433-3028-9 C3321

●第4回 全3巻 揃定価69,300円(本体66,000円) ISBN978-4-8433-3016-6 C3321 2009年12月刊行予定

- 13◆ 第10巻第10号(通巻99号)~第11巻第3号(通巻104号)/昭和17年10月~同18年3月 ISBN978-4-8433-3029-6 C3321
- 14◆ 第11巻第4号(通巻105号)~第11巻第9号(通巻110号)/昭和18年4月~9月 ISBN978-4-8433-3030-2 C3321
- 15◆ 第11巻第10号(通巻111号)~第12巻第1号(通巻114号)/昭和18年10月~同19年1月 ISBN978-4-8433-3031-9 C3321

■全15巻揃定価346,500円(揃本体330,000円/各本体22,000円) ISBN978-4-8433-3012-8 C3321

関連企画のご案内

日本画報

藝文 第1期(藝文社版)

同盟グラフ

一付・「日露戦時旬報」 [監修] 有山輝雄 [編集・解題] 高木宏治 全2巻 新聞「日本」の付録、「日本画報」全42号(明治37年~同39年)を復刻。政論紙「日本」が脱皮を図ろうとしたグラフ紙であり、娯楽等を含む多彩な内容構成。 ●揃定価73,500円(本体70,000円・分売不可)

[監修] 呂元明/鈴木貞美/劉建輝 全22巻 「幻」の全容が今明らかに。満洲における初にして唯一の日本語総合文化雑誌。「成熟」の時期に入った満洲文化を伝える貴重な雑誌資料。日中両国の第一線の研究者が集い、その全貌を明らかにする。 ●揃定価285,600円(本体272,000円)

全8巻 昭和15年~20年、同盟通信社(現・共同通信社)発行の月刊誌。戦時下の様々な世相を視覚的に紹介。国策に沿いながらもプロレタリア作家などが執筆陣に見られるのも特色。戦後GHQにより回収廃棄処分された幻の戦時グラフ雑誌。 ●揃定価184,800円(本体176,000円)



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方 日本近代史・植民地史・メディア史・写真史などの研究者、大学・公共図書館ほか。

ご注文書	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		取扱店
	満洲グラフ 全15巻		
	<input type="checkbox"/> 第1回・全4巻(分売可) <input type="checkbox"/> 第2回・全4巻(分売可) <input type="checkbox"/> 第3回・全4巻(分売可) <input type="checkbox"/> 第4回・全3巻(分売可)		
お名前			セツ
住所			
TEL ()			

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。



08.08/01.7000.H